

会議録（概要）

会議の名称	令和6年度第1回佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和6年5月29日（月） 9時30分開会 10時30分閉会
場所	佐渡市役所両津支所3階両津地区公民館会議室
議題及び協議結果	(1)議題 令和5年度事業報告及び収支決算について →資料1をもとに事務局から説明。全会一致で承認 (2)報告事項 令和7年事業年度の地域内フィーダー系統確保維持事業認定申請及び幹線補助の申請について →資料2をもとに事務局から報告。 (3)その他 ①持続可能な佐渡観光の推進に向けた受入環境整備事業について（観光振興課） →資料3をもとに観光振興課から説明。 ②新潟県広域観光周遊MaaSの取組について（新潟県交通政策課） →資料4をもとに新潟県交通政策課から説明。
会議の公開・非公開（非公開とした場合は、その理由）	公開
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市観光振興部長 小林 大吾 ・新潟交通佐渡株式会社 代表取締役社長 村山 優樹 ・佐渡地区ハイヤー協会 事務局長 富井 拓郎 ・佐渡汽船株式会社 グループ企画業務部担当部長 本間 裕幸 ・新潟交通労働組合佐渡部会 執行委員長 金子 秀道 ・国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 代理：課長補佐 渡邊徳之 ・国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 塩原 隆太郎（WEB参加） ・新潟県交通政策局交通政策課長 高橋 徹臣（WEB参加） ・新潟県佐渡地域振興局 代理：計画専門員（総括）東海林 寛雄 ・新潟県佐渡警察署 代理：交通課長 田邊賢志 ・佐渡市民生委員児童委員協議会 理事 笹本 芳廣 ・社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会 常務理事 塚本 寿一 ・佐渡市女性団体連絡協議会 会長 本間 清美 ・一般社団法人佐渡観光交流機構 事務局長 佐藤 達也 ・長岡技術科学大学大学院 教授 佐野 可寸志
会議資料	別紙のとおり

傍聴人の数	0名
備考	報道機関 2社

会議概要	
発言者	議題・発言・結果等
会長代理	(1)議題 令和5年度事業報告及び収支決算について 6ページ目で、令和4年と5年を比べると、乗客の数は増えているけれども、赤字額が増えているというのでよろしいか。また、主に燃料費の高騰が原因になったということか。
A委員	その通り。
会長代理	10ページ目の、地域デマンド実証調査で、輸送実績としては2号車しかなく、他の号車はないが、これは空席数によるものか。それともこの時間帯に同乗したりとかになるのか。
事務局	その通り。2号車しか実績はなかった。乗っている方は、羽茂高校に通う高校生。現場等確認しましたが、中学生と羽茂高校に通っている兄弟でスクールバスを利用していた実績があった。他の利用がなかったところで、例えば川茂号については、2席空席があるが、度津線の運行ルートと被っており、度津線のデマンドのほうに高校生の利用があった状況。なので、他のところについて空席はあったが、実際のところご利用される方はいなかったというのが現状。
会長代理	16・17・18・19というのは、一面高校生が全部占めているのか。
事務局	その通り。
会長代理	地域デマンド実証調査は今後どう展開していくのか。
事務局	実証調査事業になるので、ここで得たものを他の地区、例えば相川のある一定の地区などに当てはめて展開できればと思っている。他の地区でもスクールバスを運行しているので、併せてスクールバスとコミュニティバスを絡めた地域内交通ということを横展開していかなければと思っている。
	報告事項 (2)令和7年度地域内フィーダー系統確保維持事業認定申請及び幹線補助の申請について →質疑等なし

	(3)その他 ①持続可能な佐渡観光の推進に向けた受入環境整備事業について（観光振興課）
B委員	市内交通体系はこの項目すべてやっているということでよいか。市営コミュニティバスやスクールバス混乗は全部一括して同じ時期に始まったということでよいか。
事務局	その通り。全部一括して実施している。
会長代理	観光時期だけバスを走らせるイメージだが、運転士はどこから調達する予定か。
観光振興課	すでに実施をしている相川周遊バスやネイチャーライナーに関しては新潟交通佐渡に運行していただいている。運転士に関しても新潟交通佐渡のほうで手配をいただいている。基本的にはこの事業を実施するにあたっては島内事業者を想定しているので、委託先の島内事業者様が運転士も含めて手配をいただいている。
会長代理	②新潟県広域観光周遊 MaaS の取組について（新潟県交通政策課） 元のデータは何を使っているか。
新潟県交通政策課	2015 年の全国幹線旅客流入調査を使っている。 以上、閉会